オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。

●電波の届かない場所では、V801SHからは操作できません。

●一般電話からの操作、ご利用にあたっての詳細は「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

サービス	内容
転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときにかかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。（☞P.15-3）
留守番電話サービス（別途お申し込みが必要）	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.15-5）
割込通話サービス（別途お申し込みが必要）	通話中の相手を保留にし、第三者からの電話を受けたり、第三者へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えることもできます。（☞P.15-7）
三者通話サービス（別途お申し込みが必要）	２人での通話中に、もう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます。（☞P.15-8）
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況にあわせて制限できます。（☞P.15-9）
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認できます。

転送電話サービス

●発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

転送電話サービスを開始する

1 **Ⓕ[7][1]の順に押す。**

2 **転送先の電話番号を入力し、Ⓕを押す。**

●一般電話は、市外局番から入力してください。

■ メモリダイヤル利用：◎➡メモリダイヤル呼び出し（☞P.5-17）

転送先を留守番電話サービスセンターにするとき

●Ⓥ（**留守**）を押すと登　済の番号が表示されます。

■登　済の番号の変更：Ⓥ（**変更**）➡番号修正➡Ⓕ
（ボーダフォンからお知らせがないときは、変更しないでください。）
Ⓕを押したあと、もう一度Ⓕを押し、操作３へ進みます。

3 **「[1]あり」（着信音を鳴らす）または「[2]なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Ⓕを押す。**

■「[1]あり」選択時：呼出し時間選択➡Ⓕ

4 **確認画面が表示されたら、Ⓕを押す。**

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。

●しばらくすると、待受画面に戻ります。

●転送電話サービスと留守番電話サービスは同時には利用できません。

●すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止します。

転送先として登録できない電話番号

●「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）

●「00」から始まる電話番号（例：001、0041から始まる国際電話番号など）

●「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）

●「0990」から始まる電話番号（ダイヤルＱ２など）

呼出し時間

■ 呼出し時間とは、転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V801SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V801SHの着信音が鳴る時間）のことです。
■ 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV801SHの簡易留守　（☞P.14-6）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。
　例：各サービスの呼出し時間…20秒
　　　簡易留守録の呼出し時間…19秒
と設定すると、簡易留守　が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると各サービスが優先されます。

転送電話サービス開始後の着信

■ 着信音が鳴っている間に を押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。

転送電話サービス開始後の手動着信転送

■ 着信中、呼出し時間内に電話を転送するときは、 を押します。
転送先に転送できなかったときは、待受画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）を「**手動着信転送**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、転送先に転送されます。
■ またはサイドキーによる手動着信転送は、転送電話サービスを開始しているときに有効です。
留守番電話サービスを開始しているときは、留守番電話サービスセンターに転送されます。それぞれのサービスを停止中に操作すると、着信拒否となります。

転送電話サービスを停止する

1 **Ⓕ 7 3の順に押す。**

2 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**
接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

転送電話サービスの設定状況の確認

1 Ⓕ 7 4の順に押す。
2「1YES」を選び、Ⓕ を押す。
●設定状況が表示されます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

15 オプションサービス

留守番電話サービス

留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は「**サービスガイドブック**」をご覧ください。
●発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、留守番電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

別途お申込みが必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 **Ⓕ 7 2の順に押す。**

2 **「1留守呼出設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1あり」（着信音を鳴らす）または「2なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Ⓕを押す。**
アナウンスが流れますので、設定内容を確認してください。
●「1あり」に設定したときの呼出し時間は、約20秒（固定）です。

4 **を押す。**
待受画面に戻ります。

注意
●留守番電話サービスと転送電話サービスは同時には利用できません。
●すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止します。

補足
●海外から留守番電話サービスを開始するときは、転送電話サービスの転送先を留守番電話サービスセンターにしてください。（☞P.15-3）

留守番電話サービス開始後の着信

■ 着信音が鳴っている間に を押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま留守番電話サービスセンターに転送されます。

留守番電話サービス開始後の手動着信転送

■ 着信中（呼出し時間内）に を押すと、留守番電話サービスセンターに転送されます。
留守番電話サービスセンターに転送できなかったときは、待受画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）を「**手動着信転送**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、留守番電話サービスセンターに転送されます。
■ またはサイドキーによる手動着信転送は、留守番電話サービスを開始しているときに有効です。
転送電話サービスを開始しているときは、転送先に転送されます。それぞれのサービスを停止中に操作すると、着信拒否となります。

15 オプションサービス

留守番電話サービスの呼出し時間

■ 留守番電話サービスの呼出し時間（固定：20秒）を変更したいときは、転送電話サービスの転送先を留守番電話サービスセンターの番号で登　し、転送電話サービスの呼出し時間を変更してください。（☞P.15-3）

留守番電話サービスを停止する

1 **Ⓕ7 3の順に押す。**

2 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**
接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているときは、ディスプレイに「1416」が表示されます。
●「1416」は、Ⓕ7 2 2の順に押すと、消すことができます。

1 **Ⓕ7 7の順に押す。**

2 **日本では「①日本からの再生」、海外からは「②海外からの再生」を選び、Ⓕを押す。**

3 **（発信）を押す。**
留守番電話サービスセンターに接続されます。アナウンスに従って操作してください。

4 **PWRを押す。**
待受画面に戻ります。

補足
●「1416」はV801SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 Ⓕ7 4の順に押す。
2 「①YES」を選び、Ⓕを押す。
●設定状況が表示されます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。